

みねのぶ

11月号



コープさっぽろ組合員親子が稲刈り体験
(八田重忠さん圃場、美唄市峰延町峰樺3区、9月25日)

■発行日/令和4年11月1日/No.1447号

■発行/峰延農業協同組合

〒079-0192 美唄市字峰延37番地

Tel 0126(67)2111 Fax 0126(67)2793

ホームページアドレス <http://www.ja-minenobu.or.jp/>

■編集/総務課 ■印刷/空知印刷株式会社

稲刈り・はさ掛け

親子30人が体験

9月25日、美唄市峰延町峰樺3区の八田重忠さんの圃場で、生活協同組合コープさつぽろの組合員親子が稲刈りとはさ掛け体験を行いました。

コープさつぽろ組合員活動部と当JAが合同で行い、約30人の親子が参加しました。

農業振興課の豆野主査が稲の刈り方や収穫した稲の縛り方を説明し、当JA青年部員4人が指導に当たりました。最初は恐る恐る稲を刈り取っていました。最初は恐る恐る稲を刈り取っていましたが、徐々にコツをつかみ和気あいあいと順調



鎌を手に稲を刈る親子

に刈り終えました。

農業振興課の豆野主査は「田植えから稲刈りまで体験することで、米作りの大変さが理解できたので」と話しました。

収穫した稲は精米後に各参加者へ届けられ、12月に今回収穫した米を使いオンラインでの料理教室を予定しています。



豆野主査が稲の縛り方を説明

タイの天然ゴム公社職員

農業施設を見学

9月26日、当JAの農業施設に「タイ天然ゴム公社」の職員ら23人が見学に訪れました。美唄市内での観光や視察を誘致する「ステ

イびばい推進協議会」の取り組みで、同公社から「農業が盛んな美唄の農業施設を見てみたい」と依頼があり行われました。

営農販売課の佐藤課長補佐が、玄米ばら集出荷調製施設と大豆乾燥調製貯蔵施設を案内。米の受入作業や施設の仕組みについて説明しました。同公社職員からはJAの組合員戸数や農産物の精算の仕方などについて質問がありました。

営農販売課の佐藤課長補佐は「今後も同協議会と協力して、美唄市の観光誘致につなげていきたい」と話しました。



農業施設を見学するタイ天然ゴム公社の職員ら

大豆乾燥調製貯蔵施設

調製ライン投入開始

9月26日、大豆乾燥調製貯蔵施設で本年産の大豆の調製ライン投入を開始しました。

今年のお大豆刈り取り作業は早い方で9月12日から始まり、昨年より8日早い受入開始となりました。仮置き場の早い順に施設の調製ライン投入が始められ、有限会社石黒園芸のユキホマレ1479キを最初に投入し、記念に伊藤組合長から記念品が贈呈されました。

今年のお大豆作付面積は約540畝で約1500トの収穫を見込んでいます。



一番投入を記念して伊藤組合長から記念品を受け取る石黒明広さん

青年部ポプラ会 サツマイモ手作業で収穫し販売

10月9日、JAみねのぶ青年部ポプラ会がJAみねのぶ生活店舗駐車場でサツマイモの販売を行いました。ポプラ会の営農試験研究の一環として「紅はるか」「シルクスイート」「安納芋」の3品種を栽培し、開始2時間で完売。大盛況となりました。

今年はポップコーン用のトウモロコシも販売しました。初めて目にするお客さんからは「いつ頃食べられるのか」と青年部員に尋ねる場面もありました。



サツマイモを手作業で収穫する青年部員の皆さん

ポプラ会の黒田康平さんは「収穫の際はスコップで商品を傷つけないように気を付けた」と話していました。



今年も大盛況の販売の様子



トウモロコシの販売の様子

青年部がくず米集荷

本年もJAみねのぶ青年部が青年部事業の一環として一元集荷に向けてくず米を集荷しました。

9月16日、24日、10月1日、8日、15日の5日間に管内全域で集荷を行いました。総集荷量は約3945俵/60キでした。



峰延年金友の会 パークゴルフ大会

10月14日、峰延年金友の会（会長 吉田栄）は三笠市岡山にある三笠市パークゴルフ場でパークゴルフ大会を行いました。

開会式で吉田会長は「怪我のないように楽しんで親睦を深めてく

ださい」と挨拶しました。

今年2回目の本大会は、秋晴れの中行われ、JA伊藤組合長と事務局担当職員を含めて30人が参加しました。（男性21人、女性9人）

参加者は9組に分かれ3つのコースから一斉にスタートし、日頃の練習の成果を発揮し親睦を深めながらプレーを楽しんでいました。

今大会の優勝者は、男性部門は佐藤一夫さん（岩峰こぶし会）、女性部門は佐藤千江子さん（岩峰こぶし会）で夫婦での優勝となりました。ホールインワンは吉田安蔵さん（光珠内老人長生きの会）と新谷俊子さん（峰延東松盛会）で競技終了後に表彰式が行われました。

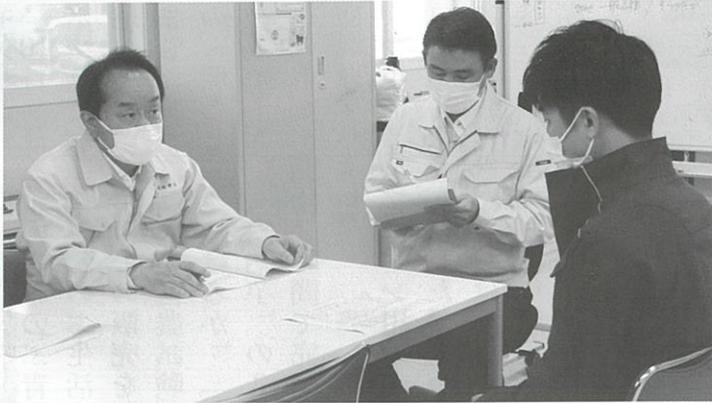


ホールインワンを決めた吉田安蔵さん

美唄市長が米受入状況を確認

美唄市の板東知文市長は9月29日、当JAの玄米ばら集出荷調製施設を訪れ、米の受入状況を確認しました。

営農販売課安西課長が、板東市長に今年の作柄や稲刈り作業の進捗状況などを説明しました。板東市長は「食料の安定供給と食料自給率向上に向けて取り組んでいきたい」と話していました。



安西課長(左)の説明に耳を傾ける坂東市長(右)

高校生インターンシップ受入

9月22日、美唄尚栄高校の2年生5人がインターンシップに訪れました。

当日はJAの業務説明、玄米ばら集出荷調製施設見学、経理業務体験を行いました。

玄米ばら集出荷調製施設では、受入した玄米を品位確定し、調製原料を調製タンクへ排出するオペレーション業務を体験しました。インターンシップ終了後、生徒の皆さんから「貴重な体験を今後の進路選択に活かしたい」と話していました。

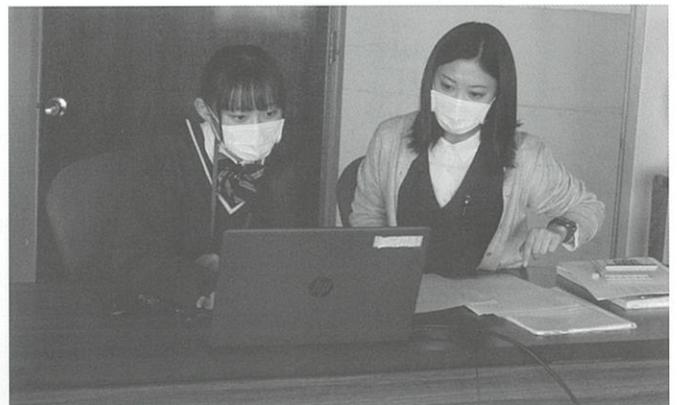


伊藤組合長が高校生にJAの歴史などを説明

廃油回収し再資源化

10月17日、農産物検査場所前(美唄市峰延町峰樺3区)でJAが廃油回収を行いました。

組合員の皆さんが農業機械のエンジンやギア等で使った古くなったオイルをペール缶等で持ち込み、廃油用のドラム缶に移し替えていました。この日は、52人の組合員の皆さんから約8900リットルの回収を行いました。回収した廃油は、回収業者に引き渡され、再生工場で加工し、約96%の再生率で、出荷・供給されます。



経理業務体験の様子



フォークリフトでドラム缶を運ぶJA職員



廃油用ドラム缶に移し替える組合員

小林篤一翁顕彰公園の冬囲い完了

10月14日と15日の両日、美唄シ
ルバー人材センターに作業を委託
して公園内の樹木の冬囲いを行
いました。

冬囲いを行った両日は好天に恵
まれ、6名の作業員は作業に精を
出していました。



令和4年産米作況「平年並み」
北海道106「良」

農林水産省は10月14日、令和4
年産の水稲の作況指数を発表し
(9月25日現在) 北海道は登熟期
の好天などで106となり、前年
の108に続く「良」になりました。
全国の作況指数は100の
「平年並み」で、10㍏当たり予想
収量は前年から2㍏減の537㍏。
22年産の主食用米作付面積で都

道府県別で首位の新潟県は、作況
指数100。日照不足などで全
み数はやや少なかったが、登熟が
良好でした。同2位の北海道は、
10㍏当たり予想収量は前年比で7
㍏減の590㍏ですが豊作が続い
ています。

地域	区分	指数
全道	良	106
石狩	良	107
南空知		105
北空知		106
上川		107
留萌		108
胆振		105
日高		105
十勝		105
渡島		103
檜山		103
後志	104	

第9回(10月定例)理事会の
開催について

10月25日開催の理事会において
次の事項が決定・協議されました。

◆決議事項◆

1. 諸規程等の制定及び一部変更
について
 2. 固定資産(土地)の取得につ
いて(計画外)
 3. 組合員による持分の譲渡の承
認について
- ◆協議事項◆
1. 峰延農業協同組合 110周
年事業の開催について

冬季営業時間に
変更のお知らせ

J A の営業時間は、「営農資材
店舗」「精米所」「給油所」が11
月1日から来年3月31日までの期
間は、冬季営業時間になります。
他の部署の営業時間に変更はあ
りません。一層のご利用をお待ち
申し上げます。

J A み ね の ぶ 営 業 時 間 (令和4年11月1日~令和5年3月31日)

	平日(月曜~金曜)	土 曜	日 曜	祝 日
本部事務所(ビル2階)	午前9時~午後5時	休 み	休 み	
金融店舗(ビル1階)	午前9時~午後4時			
営農事務所	午前9時~午後5時			
営農資材店舗 11月~3月	午前9時~午後5時			
精米所 11月~3月	午前9時~午後5時 *精米所は毎週木曜日休み	休 み		
ATM(現金自動預払機)	午前9時~午後6時30分			休 み
生活店舗	午前9時30分~午後6時30分			
給油所 11月~3月	午前8時~午後7時		午前8時~午後6時	

【ご留意】 *金融店舗 ・為替振込業務 … 平日(月曜~金曜)の午前9時~午後3時

組合員の氏名及び資格変更等の手続きについて

J A では組合員台帳の整理を常時行っていて、組合員資格等に変更(氏名・住所・電話番号、死亡・相続、離農)がある場合は、直ちに書面にて変更手続き等をお願いいたします。変更手続きについてはJ A 総務課にお問い合わせ願います。

また、任意脱退については当J A 事業年度末(1月31日)の60日前の翌営業日から事業年度末の最終営業日の期間は手続きができませんのでご了承願います。任意脱退は事業年度末の60日前のJ A 営業日までに手続きを終えていただく必要があります。

また、出資の減口は理事会の承認が必要ですので、その事業年度の最終理事会開催前までに手続きを行っていただくことで、その事業年度末での出資金払い戻しとなります。出資金は長期的・安定的なJ A の運営資金として使用しているため、貯金解約のような即時払い戻しはできません。

(J A み ね の ぶ 総 務 課)

報 徳

民風作興は率先回村から

(誠意を継続することが、法律よりも強い)



尊徳翁は次のように話された。怠惰な空気が蔓延し、風紀が乱れ切った村を再建するのは、なかなか難しい事業である。なぜかと言えば、法律も行き届かず、勿論規則も実行されない。いろいろな教えを広めようとしても聞いてくれない、という状況に村があるからである。この状況から勤勉に向わせ、義を尊ぶようにさせるのだから、何とも難しい事である。

私が最初に桜町に着いた時も、陣屋管轄の村々は、丁度そのような乱れ切った状態にあり、何とも手の下しようのない有様だった。そこで私は、深夜或いは未明に村里を巡回した。その時には、怠惰を戒めることなく、朝寝を戒めるのでもなく、何ら可否を問うことなく、励めとも言わずに、ただ自

分の勤めとして寒暑風雨にもかかわらずに毎日巡回した。一、二ヶ月後の後になって、ようやく、始めて私の足音を聞いて驚く者が現われ、足跡を見て、怪しむ者が出てきた。それ以来、村人もお互いを戒めるような心が出てきて、少しずつ、畏れの心を持ち始め、その数ヶ月の後には、夜遊び、博打、喧嘩などは勿論、夫婦喧嘩、下男達の喧嘩、果ては叱咤さえも無くなった。

権兵衛が種を蒔けば鳥がこれを掘る。三度に一度は追わずばなるまい、と言うとおりである。これも戯言とはいえ、働く人はその意味を知っておかなければならない。鳥が田畑を荒らすのは、鳥の罪ではなく、田畑を守る者が鳥を追い払わないという過ちを犯しているからである。世の中の決まりを守らない悪人がいるのも、担当官吏がそれを追求しないからである。ただし、悪人を追求するにも、権兵衛が鳥を追い払うことを勤めとして、捕まえるのを本意としなかったように、捕まえるのを目的にするのではなく、改心させるのを目的としたものである。

戯言など、一般の人々の言葉と

言えども、その本意に立ちかえってよく検討してみると、案外役に立つものである。心得ておかなければならない。
(第一三五)

青年部だより

Vol. 4

屑米集荷を終えて

加藤 藍 規

青年部事業として毎年行っている屑米集荷ですが、9月16日から10月15日の間で計5回行いました。今年の集荷量は、PP袋とフレコンを合わせて約4000俵となり、集荷量は例年と比べ多い結果となりました。

今年度の屑米集荷では、フレコンの出荷が多かった為PP袋での作業が減少しました。

その為、作業負担が減りスムーズに屑米集荷を行うことができました。

来年度の屑米集荷も組合員の皆様方のご協力、よろしくお願い致します。

おくりやみ申し上げます

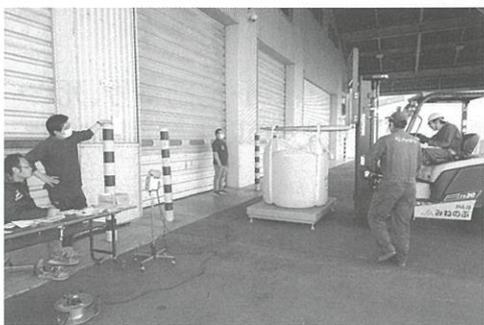
渡邊 進さん (94歳) 10月2日

美唄市東2条南6丁目3-25

阿部 忠雄さん (73歳) 10月7日

美唄市上美唄町中央

With JA YOUTH Smile



JAグループ通信 64



各団体の詳しい取り組み内容についてはWEBサイトをご覧ください。

JA北海道中央会



◆HTBまつりにてJAカレーガチャを開催!

9月30日～10月2日の3日間、さっぽろ創世スクエアにてHTBまつり2022が開催され、JAグループ北海道では、米の消費拡大を目的にブースを出展しました。

ブースでは「ガチャ」を活用し、1回1000円で道内JAのレトルトカレーやOnちゃんグッズが当たるイベントを行い、590回を超える参加をいただきました。



期間中は、「国消国産」に関するSNS投稿をした方が数量限定で挑戦できる無料ガチャ企画も行いました。ブースには、お笑い芸人錦鯉のお二人やイチモ二農園で米づくりに挑戦した田口彩夏アナウンサーも訪れ、大いに盛り上がりました。(本イベントの売上の一部は、子ども食堂に寄付いたします)

今後も食と農への理解を促し、サポーターづくりを進めるとともに、国消国産を広く周知するための情報発信を強化して参ります。

JA北海道信連



◆親子で学ぼう!あぐりキッチン教室

JAバンク北海道の食育活動として、JA・農協観光・上川生産連と連携して、親子で農産物の収穫・調理を体験するバスツアー企画を10月から12月に実施します。

稲刈りをして新米でおにぎりを作るなど、農業体験が初めての親子でも楽しめるプランを用意しています。

食への関心を高める企画を通じて、北海道農業のサポーターづくりを進めて参ります。



稲刈りの様子

JA共済連北海道



◆自動車共済お見積りキャンペーンを実施

JA共済では、『自動車共済お見積りキャンペーン』を実施しています。キャンペーンWebサイトへご応募いただいた方の中から、抽選で13,500名様にお掃除ロボットなど素敵な賞品を用意しています。

キャンペーンは令和5年3月31日(金)迄です。この機会にJA共済のホームページへのアクセスお待ちしております!



ホクレン



◆UHBテレビにてミニ番組スタート

ホクレンとUHBが共同制作したミニTV番組「それはまるでトリンドルな1日でした。」が9月6日よりスタートしました。放送は、毎週火曜日・午後9時54分からです。

農業現場に訪れたトリンドル玲奈さんが、農畜産物の調理・食事などを通じて、北海道農業の美しさや食材の魅力をお届けする新番組です。UHBの公式Youtubeチャンネルで配信中の長尺編と併せて、ぜひご視聴ください。



JA北海道厚生連



◆看護師採用HPを開設

このたび、看護師採用専門ホームページを開設しました。

それぞれの事業所を紹介しながら、地域医療を共に支えてくれる仲間を募集しています。

下記QRコードよりサイト閲覧が可能ですので、より多くの方々にアクセスをお待ちしています。

また、Twitter (@kouseihosp_ns) でも最新情報を発信していますので、チェックしてみてください。

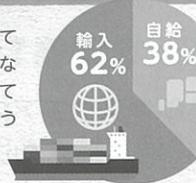


林修先生と学ぶ みんなの食料安全保障

世界情勢の激変で、日本の「食」のリスクが拡大しています。

日本の食料自給率は、わずか38%※。食料の約6割を、輸入に頼っているのです。そして今、日本の「食」は、ウクライナ情勢という新たなリスクに直面し、世界の食料価格の高騰に、さらに拍車がかかっています。「食料は、安く、いくらでも輸入できる」。そんな時代は、もう過去のものになったと言っても、過言ではないでしょう。

※2021年・カロリーベース



JAグループサポーター
林修



日本の「食」と「農」を支え、
未来につなぐ「国消国産」。

では、いざという時に食料が不足しないためにはどうすればよいのでしょうか。その答えを、JAグループは「国消国産」として提唱しています。「国消国産」とは、「国」民が必要として「消」費する食料は、できるだけ、その「国」で生「産」する、ということです。

適正な価格で「国消国産」を進める。
それが「みんなの食料安全保障」。

生産者を支え、日本の「食」を未来につなぐために、私たちがまた意識を変えていくことが求められています。できるだけ国産のものを手に取り、食べることが、私たちにできる「国消国産」の実践であり、日本の生産者を応援することにつながります。それが私たち「みんなにできる食料安全保障」と言えるでしょう。

生産資材の高騰が続き、日本の農業は
苦境に立たされています。

世界情勢の変化は今、農業の現場に、大きな問題をもたらしています。肥料、家畜の餌、燃料などの資材価格の高騰が、経営を直撃しているのです。このままでは農業を続けることが難しいという、生産者の皆さんの深刻な声も聞こえてきます。

「JAタウン」で旬の農畜産物を **今だけ送料無料**で。

<https://www.ja-town.com/shop/e/ekokusho/>

期間 2022年10月13日から11月末日まで

※既定数に達した場合、早く終了することがあります。

詳しくは▼



おいしい日本と暮らそう
JAタウン



耕そう、大地と地域のみらい。JAグループ



詳しくは金融窓口まで
お問い合わせください

JAバンク × PayPay

朗報!

JAバンク口座と
PayPayアプリが
連携スタート!!



PayPay

ご登録方法は [こちら](#)





ご自身やご家族がいつまでも安心して暮らすために

認知症の予防と備えについて 考えてみませんか？

JA 共済キャラクター
仲間 由紀恵



長寿化の進展等により、認知症は誰にとっても身近なリスクになってきています。

2025年には約1,362万人*1
65歳以上の

約3人に1人*2



認知症や軽度認知障害(MCI)の患者数は、
2025年には65歳以上の高齢者人口約3,677万人の約3人に1人、
約1,362万人に達すると推計されています。

認知症には、介護費用のほか、検査・ケア・医療のための費用がかかります。

認知症に伴う費用の目安

介護にかかる自己負担額*3

介護費用 1か月平均8.3万円 × **介護期間** 平均5年1か月 = **総額** 約507万円

検査・ケア・医療の例		費用の目安(1年間)	5年間継続した場合
MCIスクリーニング検査	MCIのリスクをはかる血液検査	約2万円*4	約10万円
もの忘れドック	脳の異常や記憶力・認知力の低下がないかを確認する画像検査・認知機能検査等	約5万円*5	約25万円
認知症デイケア	運動療法や認知トレーニング等を行うプログラム(公的医療保険適用)	約4~12万円*6	約20~60万円
認知症の外来医療費	投薬やリハビリ等	約4~14万円*7	約20~70万円

*1「厚生労働省 社会保障審議会 介護給付費分科会 第115回(H26.11.19)参考資料」、「厚生労働省 社会保障審議会 介護保障部会 第78回(令和元年6月20日)資料」をもとにJA共済連にて試算 *2内閣府 令和3年版高齢者社会白書をもとにJA共済連にて試算 *3公益財団法人 生命保険文化センター「2021(令和3)年度 生命保険に関する全国実態調査」をもとにJA共済連にて試算 *4 約2万円/回(全額自己負担の場合)、年に1回としてJA共済連にて試算 *5 約5万円/回(全額自己負担の場合)、年に1回としてJA共済連にて試算 *6 公的医療保険の自己負担割合(1割~3割)に応じて約800円~2,400円/日・週に1回・年間52週としてJA共済連にて試算(千円単位切り捨て) *7 慶應義塾大学・厚生労働省「認知症の社会的コスト(2015)」をもとに費用の目安(1年間)を公的医療保険の自己負担割合(1割~3割)に応じて47,520円~142,560円(千円単位切り捨て)としてJA共済連にて試算

いつまでもわたしらしく 認知症共済

JAの認知症共済は、幅広い保障とサービスで
予防しながらしっかり備えられる、新しい保障です

ポイント1 認知症はもちろん、
認知症の前段階の
軽度認知障害(MCI)
まで幅広く保障します。

ポイント2 認知症の予防・早期発見から
発症後までをトータルで
サポートする各種サービスが
ご利用いただけます。

ポイント3 簡単な告知で
ご加入いただけます。

ご契約例：共済金額500万円

不担保期間

1年間

はじめの1年間は
認知症・軽度認知障害
の保障がありません。

① 認知症共済金 500万円 (共済金額×100%)
所定の認知症と診断確定+要介護1以上の認定中*のとき
*公的介護保険制度に定めるもの

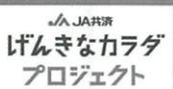
② 軽度認知障害給付金 50万円 (共済金額×10%)
所定の軽度認知障害または所定の認知症と診断確定されたとき
※①・②の支払額を合計して、共済金額と同額が限度です。

生涯保障

ご加入 ※この共済には、死亡時における保障はありません。 ※認知症共済金をお支払いした場合にはご契約は消滅します。 ※この共済には、指定代理請求特約を必ず付加していただきます。 ※共済金等のお支払いは責任開始時以後に生じた病気またはケガによる場合に限りです。 ※認知症共済金および軽度認知障害給付金にかかる責任(保障)の開始は、ご契約日からその日を含めて1年を経過した日からとなります。なお、共済掛金の払込免除についてはご契約日から保障します。 ※軽度認知障害給付金は共済期間を通じて1回のみ支払われます。

この資料は概要を説明したものです。ご検討にあたっては、「重要事項説明書(契約概要)」を必ずご覧ください。また、ご契約の際には、「重要事項説明書(注意喚起情報)」および「ご契約のしおり・約款」を必ずご覧ください。

詳しい情報はホームページをご覧ください **JA共済ホームページアドレス** <https://www.ja-kyosai.or.jp>



げんきを一緒に作る。
JA共済の「げんきなカラダプロジェクト」は、みなさまの
げんきなカラダづくりをサポートする活動です。
専用ホームページでは、健康関連のお役立ち情報や、各種
イベントのご案内を掲載しています。是非ご覧ください。➡

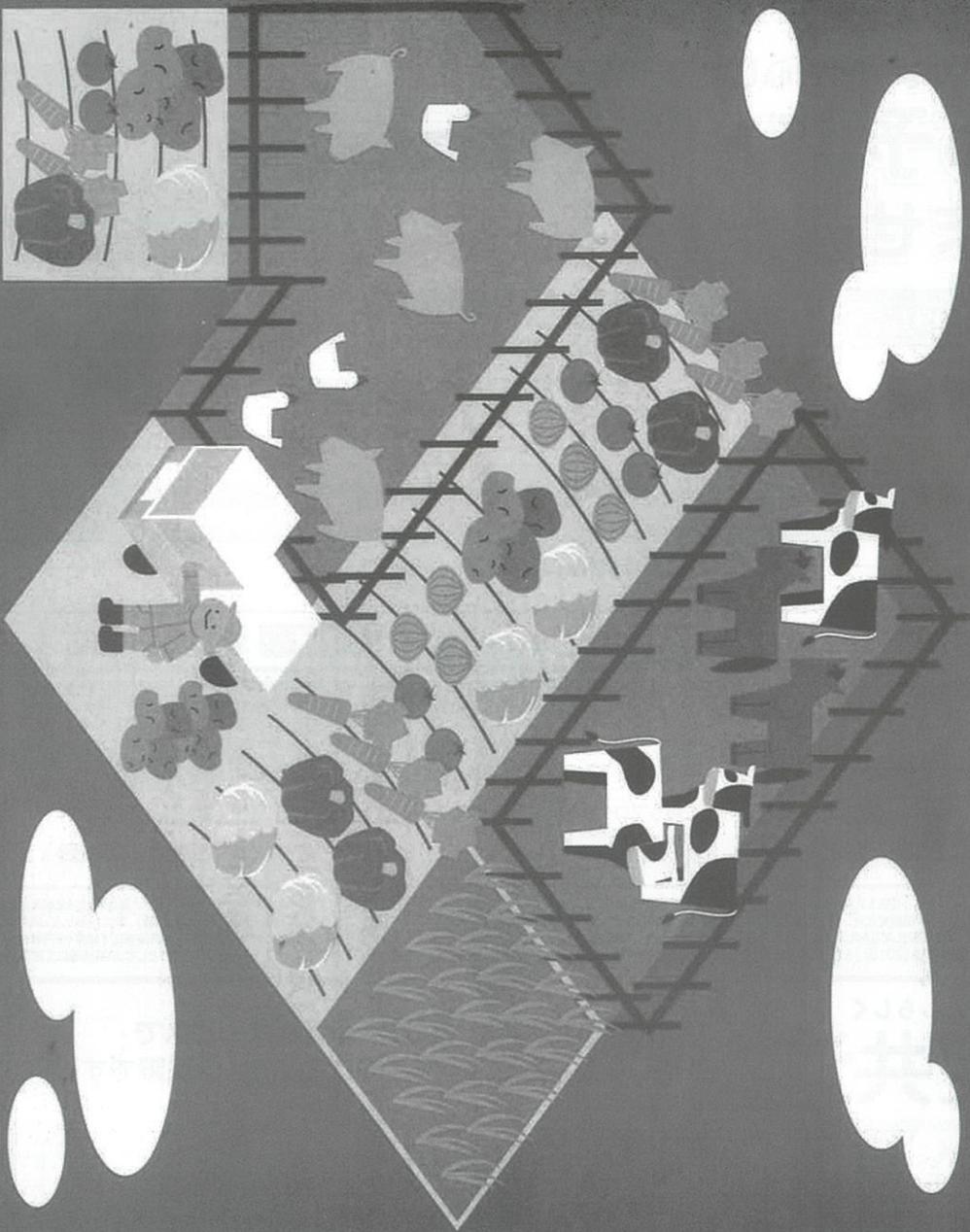


お問い合わせは
JAみねのぶ 金融店舗
☎(0126)67-2113 まで

Be a Great Small
中小機構

農家のみなさまへ

退職金を積立てませんか？



当共済は、農家の方や農業法人の
役員が加入できる退職金制度です。

特長1

掛金は
全額所得控除
になります。

特長2

掛金月額額は **1,000円～70,000円**
の範囲内で自由に設定できます。(500円きざみ)

特長3

専従者の方も **共同経営者**として
2名まで加入できます。

- ご注意 ① 掛金は、共同経営者（専従者）が負担し、掛金口座は当人名義の口座を指定して頂きます。
- ご注意 ② ご契約にあたり、「共同経営契約書」の作成が必要です。
- ご注意 ③ 3年に一度「共同経営者」である旨の現況を確認させていただきます。

小規模企業共済

本制度のお問い合わせ・お申込み

JAみねのぶ 金融店舗
☎(0126)67-2113 まで

または **中小企業基盤整備機構 北海道本部**
コールセンター ☎050-5541-7171 まで
制度の運営は、独立行政法人中小企業基盤整備機構が実施しております。